

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 8日

事業所名 みらいスイッチ小城

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	法令を遵守したスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切である	5	0	法令で必要とされる数の職員を配置をしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0	5	他の部屋から運動療法室への出入りの際、段差があるためスロープを設置している。	玄関口に段差（階段）があります。安全性を確認しながら、スロープなどの設置については検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	運動療法室も十分な広さがあり、作業や食育など、それぞれの目的に合わせて環境を整えている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	個々の目標及び評価については、定期的（月に1度）に面談を行い、課題等を明確にしながら、業務を遂行するようにしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	今回初めて、保護者等からの事業所評価を行う。	実施したアンケート結果やご意向をもとにミーティングを行い、業務改善に繋げていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	今回初めて、事業所として自己評価を行い、結果を公開する。	自己評価の結果をもとに、ミーティングを行い、共通理解を図るとともに改善についても協議を図っていきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		現在、第三者による外部評価の予定はありません。必要に応じて実施を検討していききたいと思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		
適切な支援	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	計画期間ごとに行うアセスメントの中で出てきたニーズや課題を基に、個別支援計画を作成している。	標準化されたアセスメントツールというものは使用していません。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2	保護者アセスメントをもとに、主に「発達支援」を中心に個別支援計画を作成している。必要に応じて、「家族支援」にも取り組んでいる。	「地域支援」については、まだ具体的な支援内容として設定していない現状です。今後、保護者のニーズに合わせて設定していききたいと思います。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	活動プログラムについては、担当を決めて立案→提案する形をとっている。	今後も同様の形で進めていながら、計画的に取り組んでいききたいと思います。	

援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	朝は必ずミーティングを行い、当日の内容などを確認するようにしている。	個々の支援内容まで確認することが少ないので、今後は取り組んでいきたいと思う。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	評価表を作成し記録している。全員についての記録が十分であるとはいえないが、支援の検証・改善については積極的に話し合いを行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	個別支援計画の見直しの時期に合わせて、モニタリングは行っている。	必要に応じて、支援内容の進捗状況に合わせて、中間評価などにも取り組んでいくようにしたいと思います。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が会議に出席し、内容については後日職員間で共有している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	4		今後、必要な場合には連携を取りながら支援を図っていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5		現在、該当する利用者がいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4		現在、該当する利用者がいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4		現在のところ、該当する利用者がいません。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	4		現在はまだ、該当する利用者はいませんが、必要な場合は情報共有を行っていききたいと思います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		今後積極的に専門機関と連携を図り、資質向上の研修も受けていきたいです。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		今後は必要に応じて検討したいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	地域の障害者総合支援協議会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時など必要に応じて情報共有している。	

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	4		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容を十分満たしているか、という点で今後も考慮しながら、支援計画を作成していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	月に1度お便りを送付している。またSNSも活用し、情報発信をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	児童のファイルは鍵付きのキャビネットに保管し、情報を持ち出さないように徹底している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	イベント時はお便りで準備物を周知したり、情報伝達している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	マニュアルを作成し、非常時に備えている。また、年に2回避難訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	11月に火災避難訓練を実施。3月に地震を想定した避難訓練を行う予定。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	服薬や予防接種、体調に変わりがないか受け入れ時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5		現在のところ、食物アレルギーについて、医師の指示書が必要な利用者はいません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	作成してファイリングし、スタッフが手に取れるところで管理し、情報共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待防止マニュアルをもとに研修を行った。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	やむを得ず身体拘束を行うか、研修などを通して共通理解した。	